

ガ一通、ソレカラ下ノ關ヲ輸出入港ト爲スノ件ガ十五通、函館ニ市制ヲ施行スルノ件ガ一通保險業ニ關スル取締ノ件ガ一通、ソレカラ商會社會併ノ件ガ二通、是ガ二十四通ニナリマス、次ニ第二回報告ノ文書表ニ載セタル請願中院議ニ付スベシト査定致シマシタモノハ復族及復祿ノ件ガ三十通、ソレカラ明治七年以後戰死者ノ遺族弔祭料下賜ノ件ガ一通、ソレカラ地租免除ノ件ガ五通、羽越鐵道第一期線ニ繰上ノ件ガ二通、營業稅法改正ノ件ガ四通、清國償金ノ一部ヲ普通教育基金ニ充ツルノ件ガ一通、特別市制廢止ノ件ガ一通、古社寺保存ノ件ガ一通、拂下米下付ノ件ガ一通、ソレカラ不正肥料販賣取締ノ件ガ一通、是ガ四十八通ニナリマス、又次ノ第三回報告文書表ニ載セタル請願中院議ニ付スベシト査定致シマシタモノハ復族祿ノ件ガ三十二通、青森港輸出入開港ノ件ガ一通、門司港輸出入開港ノ件ガ一通、登錄稅法自家用酒稅法煙草專賣法改正又ハ廢止ノ件ガ一通、清國償金ノ一分ヲ以テ普通教育基金ニ充ツルノ件ガ一通、營業稅法改正ノ件ガ二通、社寺上地山林還付ノ件ガ一通、地租免除ノ件ガ三通、日本銀行條例改正ノ件ガ一通、又下ノ關港ヲ輸出入港トスル件ガ一通、不正肥料取締ノ件ガ一通、是ガ四十四通ニナリマス、ソレテ詰リ去月二十六日マデニ請願委員會ニ於キマシテ院議ニ付スベシト査定致シマシタ請願書ノ數ハ都合百二十九通ニナリマス、ソレテ右第一回第二回第三回報告ノ文書表ニ載セマシタル請願中ニ於テ百二十九通ノ外ハ、院議ニ付スルヲ要セズト査定シタモノデアリマスカラ左様御承知置テ願イタイ、又第四回報告文書表ニ載セタル請願書ガ五十四通、及第五回報告文書表ニ載セバキモノガ九十四通是ハ未ダ審查ヲ了ラナイデアリスカラ更ニソレノ手續ヲ盡シマシテ他日御報告ニ及ビマスル都合デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 第二明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案、總追第五號、會議、豫算委員長報告谷子爵……

(子爵眞谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵眞谷干城君 本日ノ議事日程ニ載ッテ居リマスル總追第五號明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案、ソレカラシテ其次ニ特追第三號明治二十九年年度特別會計歳入歳出豫算追加案、其次ガ總追第六號明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案此三件デアリマスルガ至ッテ議論ノナイ誠ニ單簡ナ案デ孰モ必要缺クベカラザルモノデアリマスカラ三ツヲ取集メマシテ御報告ヲ致ス方ガ便利ト存ジマスルカラ取集メマシテ御報告ヲ致シマス、御承知ノ通此今最初ニ陳ベマシタ第五號ノ追加ニ於キマシテハ彼大洪水或ハ震災海嘯等ノコトニ就テ非常ナ損害ヲ被ッテ其補助ヲ要シマスル金額ト申シマスモノガ總豫算ニ出テ居リマス通總計八百三十一万二千二百四圓五十八錢九厘ト斯ウ云フヤウナ大

金ニナッテ居リマス、段々此事情ヲ承リマスルト如何ニモドウモ必要缺クベカラザルモノデ又是ハ實地ニ就テ調ベタラドウ云フコトニナルカハ知レマセヌケレドモ免モ角モ當局者ノ調ベタラドウ云フコトニナルカハ知レマセヌニ仕方ガナイ、斯ウ云フ譯テ別ニ討論モアリマセヌ是ハ許可シテ然ルベシト委員會ニ於キマシテハ、決シマシテゴザイマスカラ其御合デドウソ御協贊ヲランコトヲ希望致シマスル、其次ニゴザイマス即チ第三項ノ大藏省ノ請求ニゴザイマスル中央備荒儲蓄金繰入云々、是ニ於キマシテモ聽イテ見マスルト、ドウシテモ異論ヲ入ルベキ箇條デアリマセヌ、ソレテ此說明書ニ出テ居リマスル通デアリマスカラ、之ヲ以テカラニ必要ト御認メニナリマシテ委員會ノ決議ニ御同意アラランコトヲ希望致シマス其次ハ即チ第六項ノ所デアリマスラニ之ヲ請求シタモノデ、決シテ不當ナモノデナイ、尤モ至極ナモノト存ジマスカラ委員會ニ於テハ前二案同様ニ可決然ルベキモノト決議致シマシタカラドウカ御同意アラランコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 右議案全體ヲ問題ニ供シマス、朗讀ヲ致サセマス

(山本書記官朗讀)

(總追第五號)

明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加

豫算

明治二十九年年度歳入追加額ヲ九拾六萬參千五百拾圓貳拾貳錢七厘歳出追加額ヲ八百參拾壹萬貳千貳百四圓五拾八錢九厘ト定ム其款項金額ハ別册歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

歳入臨時部

第五款 中央備荒儲蓄金繰入 金九拾六萬參千五百拾圓貳拾貳錢七厘

第一項 中央備荒儲蓄金繰入 金九拾六萬參千五百拾圓貳拾貳錢七厘

歳出臨時部

內務省所管

第四款 土木事業費 金四萬參千四百拾五圓七錢九厘

第二十二項 富士川修築工修繕費 金四萬參千四百拾五圓七錢九厘

第十二款 水害費 金六百七拾萬五千參百四拾參圓拾七錢五厘

第一項 府縣水害諸費 金貳萬參百四拾參圓拾七錢五厘

第二項 富山縣水害土木費補助 金八拾六萬千圓

第三項 新潟縣水害土木費補助 金四拾四萬五千圓

第四項 石川縣水害土木費補助 金五拾五萬九千圓

第五項 岐阜縣水害土木費補助 金參拾八萬千圓

第六項 福井縣水害土木費補助 金參拾貳萬九千圓
第七項 京都府水害土木費補助 金六拾萬四千圓
第八項 和歌山縣水害土木費補助 金拾壹萬五千圓
第九項 大阪府水害土木費補助 金拾七萬五千圓
第十項 神奈川縣水害土木費補助 金九萬七千圓
第十一項 埼玉縣水害土木費補助 金八萬貳千圓
第十二項 群馬縣水害土木費補助 金貳拾萬五千圓
第十三項 茨城縣水害土木費補助 金拾五萬千圓
第十四項 栃木縣水害土木費補助 金參拾七萬貳千圓
第十五項 奈良縣水害土木費補助 金拾壹萬七千圓
第十六項 三重縣水害土木費補助 金貳拾壹萬千圓
第十七項 愛知縣水害土木費補助 金貳拾六萬貳千圓
第十八項 山梨縣水害土木費補助 金貳拾五萬五千圓
第十九項 滋賀縣水害土木費補助 金四拾六萬五千圓
第二十項 長野縣水害土木費補助 金四拾參萬參千圓
第二十一項 宮城縣水害土木費補助 金六萬九千圓
第二十二項 福島縣水害土木費補助 金貳拾八萬八千圓
第二十三項 青森縣水害土木費補助 金八萬六千圓
第二十四項 香川縣水害土木費補助 金拾貳萬參千圓

第十三款 震災及水害費 金參拾六萬九千參百拾八圓九拾錢
第一項 秋田縣震災及水害費 金參百拾八圓九拾錢
第二項 巖手縣震災及水害費 金貳拾九萬五千圓
第三項 秋田縣震災及水害費 金七萬四千圓

內務省所管合計金七百拾壹萬八千七拾七圓拾五錢四厘

第一款 中央備荒儲蓄金補助 金百拾九萬四千百貳拾七圓四拾參錢五厘
第一項 中央備荒儲蓄金補助 金百拾九萬四千百貳拾七圓四拾參錢五厘

歲出臨時部合計金八百參拾壹萬貳千貳百四圓五拾八錢九厘

○久保田讓君 此豫算ハ昨年ノ震災並ニ水害ノコトニ就キマシテ堤防トカ橋梁トカノ復舊工事ニ關スル即チ善後ヲ講ズル所ノ豫算デアリマシテ、其委員會ノ節ニ木員ハ此震災並ニ水害ニ關シテ土木事業ノ外ニ小學校ガ餘程其震災ノタメニ潰レ又其水害ノタメニ流レテ、先ツ承ッテ居ル所デハ岐阜縣巖手縣秋田縣ノ如キハ巨多ノ學校ガ潰レ或ハ流失ヲ致シタ、其タメニ國民教育ヲ十分ニ施行スルコトガ出來ナイト云フ有様ア地方ヨリハ頻ニ國庫ノ補助ニ依ッテ復舊ヲ致シタイト云フコトヲ請願シテ參ッテ趣ニ承ッテ居リマスガ、此追加

豫算中ニハ其事ハ見エマセヌ、ソレ故政府ハ如何ナル御見込デアリマスルカ、補助ヲシナクテモ復舊スルコトガ出來ルカト云フ御見込デアアルカドウデアアルカト云フコトヲ御尋致シタノデアアルガ、當時ノ政府委員ハ土木事業ノミニ付テノ政府委員ヲ答辯ガ出來ナイト云フコトデアアリマシタカラ然ラバ已ムヲ得ヌコトデアアルカラ本會議マデニ當局政府委員カラノ答辯ヲ得タイ云フコトヲ請求シテ置キマシタガ、今日マデマダ返答ガゴザイマセヌダスガ、其當時ニ此事ヲ傳言ヲ付託シタ政府委員ハ如何ナルコトニ御取扱ヒニナリマシタカ、御答辯ハ如何デアゴザイマセウカ、チヨット御尋致シマス

〔政府委員木場貞長君演壇ニ登ル〕

○政府委員(木場貞長君) 先刻古市內務省所管ノ政府委員カラ久保田君カラノ請求デアッタガ小學校ノ補助ノコトニ附テ質問シタイト云フコトデアアルカラ本會ヘ出テ貫ヒタイト云フコトデアゴザイマシタカラ、取敢ヘズ出席致シマシタ、ソレデア書類ナドハ携帶致シテ居リマセヌガ、大體ハ記憶シテ居リマスルカラ記憶ニ依ッテ御答ヲ致シマス、小學校ノ震災ヤ水害ノタメニ害ヲ被ッ

タト云フコトハ事實デアゴザイマス、其中デア尤モ害ノ大キカッタト云フ所ハ巖手縣デアアル、其巖手縣デアハ最初地方稅ヲ以テ補助スルノ見込ヲ以テ縣會ノ議ニ付シタ、所ガ調査ノ不十分所ガアルカラト云フコトデア、其案ハ可決マデニハ至リマセヌデアゴザイマシタガ、再調ト云フコトニナッテ參リマシタ、然ルニ其後向フニ又震災ガゴザイマシテ其結果トシテ文部省ニ補助ノ内議ガゴザイマシタ、知事ノ申出ノ金額ハ二年度ニ涉ッテ合セテ三万ヲ超エルコトガ僅デアゴザイマシタ、此金額ヲ先年政府カラ補助ニナリマシタ、愛知岐阜

ノ震災ノ時ノ率ニ依ッテ計算シテ見マスト七千圓ノ補助ヲ要スルト云フ計算ニナッテ來ル、然ルニ種々ノ調査ニ據リマシテ調ベマシタ所ヲ以テ見マスレバ巖手縣ノ地方稅ヲ以テ此七千圓ノ金ハ十分ニ補助シ得ルト云フ見込デアゴザイマシタ、抑、補助ノ事ハ餘程注意ヲ加ヘナケレバ我モ我モト出テ來ルモノデアアル、國庫ニ是等ノ望ニイッテモ應ズルダケ餘裕ガアレバ格別アスガ隨分積極的ニ政府ノ自カラ爲サネバナラヌ事業モ多イ時デアリマスカラ補助ノ事ハ餘程能ク取調ヲ要シマスルガ內務省ノ調ニ據リマシテ見マシテモ確ニ巖手縣ノ資力ニ堪エ得ルト認メマシタノデアゴザイマス、ソコデア遂ニ閣議ヲ經マシテ巖手ノ縣知事ノ請求ハ許可ニナラヌコトニナリマシタガ其後縣知事ハ縣會ニ補助ノ案ヲ提出致シテ果シテ縣會デア可決ニナリマシタ、確カニ二萬餘リノ金デアアッタト思フテ居リマスガソレダケハ今日ハ可決ニナッテ居リマス、數限

リモナク少々バカリノ金額ヲ國庫カラ一々補助シテ行クト云フ譯ニモ參リマセヌ、ソレデア必要ト認メズニ補助ハ見合セラレタ次第デアゴザイマス

○議長(公會近衛篤磨君) 本案全體ニ別段御異議ガナクバ可決ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
次ハ明治二十九年特別會計歲入歲出豫算追加特追第三號、是又全體ヲ問題ニ供シマス、朗讀ヲ致サセマス

〔山本書記官朗讀〕

(特追第二號)

明治二十九年特別會計歲入歲出豫算追加特別會計豫算
明治二十九年大藏省所管中央備荒儲蓄金歲入歲出豫算追加額及其款項ノ金額ハ別冊歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

大藏省所管 中央備荒儲蓄金

歲入
第一款 中央備荒儲蓄金收入 金九拾六萬貳千六百四拾八圓五拾錢
第三款 雜收入 金九拾六萬貳千六百四拾八圓五拾錢

歲出

第一款 中央備荒儲蓄金支出 金九拾六萬參千五百拾圓貳拾貳錢七厘
第一款 府縣備荒儲蓄金補助 金九拾六萬參千五百拾圓貳拾貳錢七厘

○議長(公爵近衛篤磨君) 是亦御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
次ハ明治二十九年歲入歲出總豫算、總追第六號全部ヲ問題ニ供シマス、朗讀ヲ致サセマス

〔山本書記官朗讀〕

(總追第六號)

明治二十九年歲入歲出總豫算追加
明治二十九年歲出追加額ヲ貳萬五千圓ト定ム共款項ハ別冊歲出豫算ニ據ルヘシ

歲出臨時部

農商務省所管
第九款 獸疫費 金貳萬五千圓

第一項 獸疫費 金貳萬五千圓

○議長(公爵近衛篤磨君) 是亦原案ニ決シマス、次ハ鐵道敷設法中改正法律案、第一讀會朗讀ヲ致サセマス

〔山本書記官朗讀〕

鐵道敷設法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十年二月二十四日 衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法中左ノ通改正ス
第二條中央線及北陸線ノ連絡線ヲ左ノ通改ム

一 岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道
一 前項ノ線路ヨリ分岐シ若ハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道

〔政府委員松本莊一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本莊一郎君) 唯今朗讀ニナリマシテ鐵道敷設法ノ改正法案ニ就テ一言申上ゲマスルガ此多治見ト申ス所ハ大抵皆御承知デゴザイマセウガ唯今敷設工事ニ著手ヲ致シテ居リマスル中央線ノ名古屋ニ寄リマシテ方デハ一番先ツ大キイ一ツノ停車場デアリマスルガ是カラ岐阜ノ方ニ直通ノ線路ヲ敷設致シマスルト名古屋ニ迂回シテ岐阜ニ參リマスルヨリハ距離モ餘程近クナリマスルシ、他日中央線ノ貫通ノ日ニハ此岐阜ニ直通スル線路ハ軍事上ニ於テモ餘程必要ナモノ、趣ニゴザイマスル、依ッテ此線路ハ元來敷設法ノ豫定線ニハ這入ッテ居リマセヌケレドモ之ヲ豫定線中ニ加ヘテ置クヤウニ致シタイ、就キマシテハ富山ノ方ニ高山ヲ經テ參リマスル線路モ唯今ノ法文ニアルノトハ變ラナケレバナリマセヌ、第二項ヲ變ヘテ出シマシテ、斯ウ云フ唯單一ナ法律デアリマス、ドウゾ御協賛アラシコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段ニ御質問モゴザイマセヌガ御質問モナクバ次ノ議事日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵谷干城君 トウゾ此委員ハ議長ニ委託シタイト思ヒマス

○子爵板倉勝達君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 谷子爵ノ委員選舉ヲ議長ニ委託スルト云フ動議ニ御異議ガナクバ共通ニ致シマス

〔大贊成〕ト述フル者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニ祿高整理公債法案、衆議院提出第一讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス、是ハ條數モゴザイマスルカラ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(坂本書記官朗讀)
祿高整理公債法案

右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也

明治三十年二月二十四日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤磨殿
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

祿高整理公債法

第一條 祿高整理公債ハ祿高處分整理ノ爲ニ發行スルモノトス

第二條 祿高整理公債ハ一千萬圓ヲ限リ之ヲ發行スルコトヲ得

第三條 祿高整理公債利子ノ割合ハ一箇年百分ノ七以下トシ元金償還ニ至ルマテ毎年六月及十二月ノ兩度ニ之ヲ仕拂フ

第四條 祿高整理公債ニ對シ發行スル證書ハ無記名利札附ニシテ千圓五百圓百圓五十圓二十五圓十圓ノ六種トス

第五條 祿高整理公債證書ノ様式ハ大藏大臣之ヲ定ム

第六條 祿高整理公債ノ元金ハ證書發行ノ年ヨリ五箇年据置キ其ノ翌年ヨリ向フ五十箇年以内ニ之ヲ償還ス

第七條 祿高整理公債元利金ノ仕拂ヲ請求セサルモノアルトキハ元金ハ償還ノ月ヨリ滿十五箇年利子ハ仕拂期月後滿五箇年ヲ過クレハ之ヲ仕拂ハサルヘシ

但正當ノ事由ニ依リ請求ヲ爲シ難キ場合アルトキハ其ノ間ノ日數ヲ算セス

附則

第八條 本法ニ規定セサル事項ハ總テ明治十九年勅令第六十六號整理公債條例ニ據ル

○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御發言ガナイヤウデゴザイマスカラ次ノ議事日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○男爵中川與長君 本案ノ特別委員モ議長ニ選舉ヲ御委託致シタイト思ヒマ

○子爵谷干城君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○男爵小松行正君 中川男爵ニチヨット御尋ヲシマスコガ衆議院デハ此法案ノ委員ハ數ヲ增加ニナツテ居リマスルガ中川男爵ハ矢張普通ノ九名デ宜シイト云フ御考デゴザイマスカ

○男爵中川與長君 九名デ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 小松男爵ノハドウ云フコトデゴザイマシタカ

○男爵小松行正君 中川男爵ニ質問ヲ致シマシタ、成規ノ通九名デ宜シイト云フ積テ發言ニナツタカト云フコトヲ質問致シマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) モウ分リマシタカ

○男爵小松行正君 分リマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 中川男爵ノ動議ニ御異議ガナクバ其通決シマス、次ハ家祿賞典祿處分法案衆議院提出、第一讀會、是亦通牒文ノミ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

家祿賞典祿處分法案

右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也

明治三十年二月二十五日

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

賞典祿處分法

第一條 明治三年九月十日太政官布告藩制施行以後家祿賞典祿ヲ有シタル者及其ノ家名承繼人ニシテ明治九年八月太政官第百八號布告及同年十二月太政官第百五十二號布告施行ノ際其ノ祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケサル者若ハ相當額ノ給與ニ不足アル者ハ其ノ本人及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名承繼人タル者ニ限リ其ノ給與未濟額ヲ明治九年八月太政官第百八號布告第一條及同年十二月太政官第百五十二號布告ノ率ニ據リ換算シ其ノ元金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

但常事犯ノ爲沒祿若ハ減祿セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 明治六年十二月太政官第四百二十五號布告ニ據リ處分ヲ受ケタル者ニシテ其ノ祿高ニ對スル相當額ノ給與ニ不足アル者ハ其ノ本人及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名承繼人タル者ニ限リ其ノ給與未濟額ヲ明治六年十二月太政官第四百二十六號布告第一條ノ率ニ據リ換算シ其ノ金額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

第三條 明治三年十二月太政官布告社寺領上知ノ當時配當祿ヲ有シタル者及其ノ家名承繼人ニシテ明治十年三月太政官第三十二號布告施行ノ際其ノ祿高ニ對スル全部ノ給與ヲ受ケサル者若ハ相當額ノ給與ニ不足アル者

右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

貴族院議事速記録第十三號

明治三十年三月一日

祿高整理公債法案

家祿賞典祿處分法案

第一讀會

九一

ハ其ノ本人及本法施行ノ日ニ於テ現ニ其ノ家名承繼人ニ限リ其ノ給與未
濟額ヲ明治十年三月太政官第三十二號布告ノ率ニ據リテ換算シ其ノ元金
額ヲ祿高整理ノ爲發行スル公債證書ヲ以テ給與ス

但舊領主ノ寄附シタル社領ヨリ配當ヲ受ケタル者及朱黑印地除地竝ニ
舊領主ヨリ寄附シタル寺領ヨリ配當ヲ受ケタル者ニシテ給與ヲ得サル
者ハ本條ニ據リ之ヲ給與ス

第四條 第一條及第二條ノ祿高ハ明治二年六月二十五日行政官達同年十二
月二日太政官布告ニ基キ及第三條ノ祿高ハ明治十年三月大藏省乙第十二
號達ニ基キ各調査シタル祿高ニ據ルモノトス

第五條 第一條第二條及第三條ノ祿高ヲ金額ニ換算スルハ明治八年九月太
政官第三百二十八號布告ニ據リ取調ヘタル既定ノ石代相場ニ據ル

第六條 第一條第二條及第三條ノ給與ヲ受ケムトスル者ハ其ノ理由及證據
ヲ具シ地方廳ヲ經由シテ大藏大臣ニ願出ツヘシ
但本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ願出サルトキハ本法ノ給與ヲ受ケル
コトヲ得ス

附則

第七條 此ノ法律ニ抵触スル法律命令ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ其效力ヲ失
フモノトス

○議長(公曾近衛篤磨君) 是亦別ニ御發言ガナイヤウデゴザイマスカラ次ノ
議事日程ニ移リマス右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵谷干城君 是モ矢張議長ニ委託シタイト思ヒマス、ソレデ前ノ此祿高
整理公債法案ト一ツノ委員ニ付託シタ方便利デアラウト思ヒマス

○男爵中川與長君 贊成
○男爵本田親雄君 贊成

○議長(公曾近衛篤磨君) 谷子爵ノ勸議ニ御異議ガナクバ其通ニ決シマス
(異議ナシ)ト述フル者アリ

○議長(公曾近衛篤磨君) 次ハ古墳墓保護ニ關スル建議案、外山正一君發議、
會議、前會ノ續、朗讀ヲ致サセマス

(阪本書記官朗讀)

古墳墓保護ニ關スル建議案
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也
明治三十年二月二十三日

發議者

外山正一

貴族院議長公曾近衛篤磨殿
古墳墓保護ニ關スル建議

贊成者

子爵伏原宣足
外三十九名

凡ソ忠臣元勳及其ノ他國家ニ功勞アル者ハ其ノ生前ニ於テ厚ク之ヲ待遇ス
ヘキハ勿論其ノ死後ニ於テモ亦厚ク之ヲ葬リ且永ク其ノ德ヲ彰表スルノ道
ヲ盡スヘキナリ即祠堂ヲ造テ其ノ靈ヲ祭リ碑碣ヲ建テ、其ノ德ヲ稱揚スル
所以ニシテ其ノ墳墓ノ如キハ神聖犯スヘカラス歴然トシテ之ヲ千歲ノ後ニ
存セシムヘキナリ然レトモ物換リ星移リ忠臣元勳等ノ墳墓モ或ハ壞爛シ或
ハ埋滅ニ歸スルノ恐レナシトモ近維新ノ忠臣元勳ノ爲ニ葬儀ヲ厚クシ
千歲不滅ノ墳墓ヲ造ルカ如キハ克ク其ノ道ヲ盡スモノト謂フヘキナリ蓋忠
臣元勳等ノ墳墓ニ保護ヲ加ヘ之ヲ永遠ニ保存スルハ後人殊ニ國家ノ責任ニ
シテ其ノ何レノ時代ニ屬スルモノタルヲ問ハス苟モ之ヲ放任シテ荒廢ニ委
セシメ遂ニ人ヲシテ其ノ所在ヲタニ知ル能ハサルニ至ラシムルカ如キハ一
大缺典ナリト謂ハサルヲ得ス而シテ此ノ如キ事業ハ固ヨリ之ヲ一私人若ハ
有志者輩ノ手ニ委スヘキモノニ非ス政府ハ宜ク適當ナル方法ヲ設ケ其ノ新
古ヲ論セス忠臣元勳等ノ墳墓ニシテ苟モ荒廢埋滅ノ恐レアルモノヲ保護シ
以テ國家ノ應ニ盡スヘキ責任ヲ完クセラレンコトヲ希望ス仍テ茲ニ之ヲ建
議ス

明治三十年 月 日

(外山正一君演壇ニ登ル)

○外山正一君 極簡單ニ此建議案提出ノ理由ヲ述ベマス、先ツ始ニ一言申シ
テ置キマスル事ガゴザイマサル、ソレハ此法案ノ首ニ於キマシテ「忠臣元勳及
其他國家ニ功勞アル者」ト認メテアリマスルガ此國家ニ功勞アル者ハト云
フノハドウ云フ者ヲ重ニ指シタノデアアルカト申シマスルト、學者又ハ美術家
等ノ如キモノデアリマス、デ其外ニモ種々ノ道ニ於テ功勞アル者モ少カラヌ
コトデゴザイマセウケレドモ、先ツ斯ノ如キ者ヲ其中ニ含ンデ居リマスル譯
デアリマスル、ソレ故ニ或ハ此ノ如キ漠然タル文字デハ足ラヌト云フヤウナ
恐レモアルカト思ヒマス、若シ諸君ノ御贊成ヲ得ルコトガ出來テ諸君ニ於
テモ御異議ガナケレバ此所ニ或ハ「其他國家ニ功勞アル學者美術家等」ト云
ヤウニ改メテハ如何デアアルカト思ヒマス、扱本員ガ此ノ如キ案ヲ提出致シマ
フスルト云フコトニナリマシタノハ本員ガ昨年ノ夏七月ノ半ヨリ八月ノ半マ
デ大和地方、ソレカラ河内攝津和泉山城ノ地方ヲ巡廻致シマシタ、ソレデ其地
方地方ニ於ケル所ノ御陵ヲ巡拜致シマシタ、其數ハ百四十箇所程ニ涉リマス
ルノデアリマス、其途ニ於キマシテ數名ノ有名ナル墳墓ニモ參詣ヲ致シマシ
タコトデアリマス、ガ其中ニ於キマシテ如何ニモ遺憾ニ思ハレ如何ニモ哀ム

ベキ有様ト思ハル、ヤウナ墳墓ガアリマス、然シテ其何人ノ墳墓デアアルカト云フコトヲ考ヘマスルト云フト實ニ國家ニ取リマシテ非常ニ功勞ノアツタ人デアリマシテ、今日我國家ガ斯ノ如キ盛大ニ立至ツタノモ斯ノ如キ人ノ忠勤ニ依ル次第デアルト思ハル、ヤウナ人ノ墳墓ガ實ニ淺マシキ有様ニナツテ居リマス、其一ツ申シマスレバ河内國ノ古市郡ト云フ所ニ通法寺ト云フ寺ガアリマス、其所ニ源義家ノ墓ガアリマス、此ノ如キ人ノ墓ニシテ今ノ有様ヲ見マスルト實ニマルデ荒廢ノ有様デアリマス、石ノ垣ガ出來テ居リマスガ其垣ト云フモノモ餘程崩レテ居リ石塔ハドコニカ行ツテ湮滅シテ居ルヤウナ有様デアリマス、斯ノ如キ歴史上ニ於テ實ニ大切ナル人デアリ國家ノタメニ非常ニ功ノアル人デアリ且ツ將來ノ人ニ斯ノ如キ英雄忠臣ト云フモノハ手木ニナルヤウナモノデモアリマス、ドウカ斯ウ云フ人ノ墳墓ト云フモノハ相應ナル所ノ保存ト云フモノヲ加ヘテ湮滅ニ歸セヌヤウニシタイト云フ觀念ヲ起シマシタ、ソレカラ是ハ忠君ナドノ側カラ措キマシテ一例デアリマスルガ又學者ナドノ墓デアリマスルト最モ哀ムベキモノガ此東京府下ノ極近傍ニ在リマスルノデアリマス、ソレハ木下順庵ト云フ人ノ墓デアリマス、大森ノ停車場カラシテ池上ノ方ニ參リマス池上ノ直キ下ノ所……木門寺ノ下ノ所ニ明保野ト云フ温泉ガゴザイマス、其中ニ今日ハアルノテ、其有様ハドウ云フモノデアアルカト申シマスルト、此木下順庵ト云フ人ノ墓ガ其所ニ一本アリ其直ノ脇ニ三本墓ガアル其三本ノ墓ヲ斯ウ東ネマシテ一本オイト其後ロニ一本オイト三本束ネテ土中ニ半埋メテアツテ其上ニ漸ク幅二尺高サ三尺位ノ覆ヲ拵ヘテ其中ニ埋メテアル、ソレガドコニアカト云フト直グ臺所ト云フ所ノ……小サナ臺所ノヤウナモノガアツテ其所ニ一間モ隔ツテ居ラヌ所ニ在ルノデアアル、私ガ參ツテ見マシタ時ニハ手桶ガ其所ノ直グ脇ニヨツカケテ天秤棒ガヨツカケテアルヤウナ始末デアアル、尋ネテ見マスルト云フト元ハ此邊ハ墓場デアツタノデ、然ルニ此數年前ニ今ノヤウナコトニサレテ仕舞ツタノデアアル、一私人ノ私有ノモノニナリマシタモノデアリマスルカラ、サウ云フコトニナツタノデ、別ニ致シ方ハナイ、併シ此ノ如キ先生ノ墓ガ今日ノ如キ有様ニナツテ居ルト云フノハ實ニ痛マシイコトデアラウト思フ、殊ニ我國ハ祖先崇拜ヲ爲ス所ノ國デアリマス、祖先崇拜ト云フコトヲ最モ重シテ居ル國デアリナガラ此大家輩ノ墓ヲ此ノ如キ有様デ置クト云フノハ實ニ歎ハシイコト、思ヒマス、ソレ故ニ如何ナル方法ガ適當デアアルカト云フコトハ未ダ致究ハ致シテ居リマセヌ、又斯ノ如キコトヲ企テル日ニハ餘程數モ多クナツテ連モ保護シキルコトハ出來マイト云フヤウナ懸念モアリマス、其邊モ私ハサウ悉ク調ベタト云フ譯デアアリマセヌガ、併シ此ノ如キ場合カラ考ヘマスルト云フト隨分何カ方法ヲ設ケテ保護ノ道ガ附イタラ宜カラウト思ヒマス

ノデアリマス、ソレカラ致シテ或ハ陵デサヘモト云フヤウナコトヲ隨分人ガ言ハヌコトデアハナイカト思ヒマス、之ニ附キマシテハ本員モ明治二十四年ノ頃カラシテ聊カ考ガアリマス、サウシテ昨年陵ヲ巡拜致シタト云フノモ大ニ其邊ヲ思慮致シマシタコトデアリマス、或ハ本議會ニ於テ陵ニ關シテモ建議デモ致サナケレバナラヌト思ヒマシタ、然ルニ陵ノコトニ就キマシテハ世間ニモ種々ナ議論モゴザイマシテ諸陵頭モ出來、節々地方ニ出張モ致サレルコトデアリマス、就キマシテ其事ニ關シテ建議ナドヲ爲ス必要モナカラウト思ヒマス、ソレ故ニ其事ハ致シマセヌガ此元勳並ニ其他功勞ノアツタ學者ナドデ我國ノ代表者トモ言フベキ人、此ノ如キ人ノ墳墓ヲ歷然トシテ存シテ置クト云フコトハ吾々後人ノ義務デモアラウシ又教育上ナドニ於キマシテ實ニ大切ナコトデアラウト思ヒマス、ソレノ地方ニアリマスル斯ノ如キ名士忠臣元勳等ノ墓ナドニ學生生徒ナドヲ連レテ參テ參詣ヲ致サセマシタナラバ隨分效ノアルコトデアラウト思ヒマス、教場ニ於テ何先生何將軍ノ話ヲ致シマシテ其ノ墳墓ガ若シ近傍デアアルナラバ遠足ニデモ參ツテ參詣ヲスルコトハ實ニ利益ノアルコトデアラウト思ヒマス、且ツ斯ノ如キ人ノ中ニハ大ニ又今日ノ人ノ戒ト爲ルコトモアラウト思ヒマス、ソレハ實ニ非常ナル大家ノ墓デアツテ其墓ノ質素ナルコト、云フノハ誠ニドウモ感服ノ至デアリマス、大塚ノ彼ノ陵ノ裏ラニアリマス、此墓ト又彼ノ池上ニアリマスル所ノ木下先生ニ簡單極マルモノデアリマス、此墓ト又彼ノ池上ニアリマスル所ノ木下先生ノ墓ナドヲ見マス、矢張極簡單ナルモノデアリマス、此ノ如キ大家ノ墓ト今日或ハ青山ノ墓地或ハ谷中ノ墓地ナドニアリマスル所ノ今日ノ人ノ墓ト比ベテ見マシタラバ感ズル所少カラヌコトデアラウト思フ、昔時ノ人ハ實ニアア云フ豪傑デアツテモ此ノ如キ粗末ナ墓、今日ノ人ハ實ニソレト較ベルト實ニ非常ナ盛大立派ナル所ノ墓ヲ持ツテ居ル、然シテ其異同ノアルベキ理由ガ果シテアルカナイカト云フヤウナコトヲ考ヘマシタナラバ大ニ裨益ノアルコトデアラウト考ヘル、ソレ故ニ或ハ此ノ如キ建議案ヲ出スコトノ必要ガアルカト思ヒマス、併シ又諸君ノ中ニハ大ニ御考ノ異ツテ居ラシヤル御方モアラウト思ヒマス、私ハ決シテ私ノ信シ込ダ所ガ間違ノナイ正確ナコトダト無闇ニ思フテ仕舞フ譯デアアリマセヌ、ソレ故ニ若シ其考ガ間違ツテ居ルト云フ御考ノ御方ガアリマスルナラバ十分ニ伺ヒタイト考ヘマス

○男爵伊達宗敦君 チヨット外山君ニ御尋シマスガ今修正ガアルトカ何トカリマシタ……

○外山正一君 ソレハ「忠臣元勳其他國家ニ功勞アルモノ」ト云フガ是デハ或ハ漠然デアラウカト云フ御考ノアル御方モアラウカト思ヒマス、ソレ故ニ「其

他國家ニ功勞アル學者美術家等」ト云フコトニ修正ヲシテハドウカト思ヒマス、併シ強ヒテ申スデハアリマセヌガ是デハ漠然トシテ居ル餘リ將軍ダノ何ダノ、墓ダケヲ重クスルト云フコトニ取レハセヌカト云フ懸念モアルノデサウシタイト思フノデアリマス

○男爵小澤武雄君 少シ質問致シタウゴザイマス、此案ニ附テ段々承ハルコトガアルノデスガ古墳墓ト云フコトニ附テ古ノ字ト近世ト云フコトハ何年ノ何月ヲ以テ御別ケニナルカ、ソレヲ承ハリタイ、夫ガ極マラヌト今日ノマデニ及ブヤラ千年以上ニ止メルヤラ分ラヌ、是ハ國家ガ負擔スルコトニシテモ入費ガドレ程掛ルカモ分ラヌカラ、古社寺ノ方デ見ルト文明ノ十八年トアツタカト思ヒマスガ、サウ云フノガアレバ少シハ標準ガ定マリマスカラソレヲ伺ヒマス、ソレカラ此墓ヲ保護スルニハドウ云フ方法デシタガ宜シイカ又餘リ多クナツテ之ヲシ能フコトノ出來ナイヤウニナリハセヌカト發議者モ恐ル、ト云フヤウニ云ハレマシタガ、ソレガ極ラナクテハ吾々贊否ヲ表スルコトガ出來ナイ、ト云フノハ矢張前ニモ申シタ通ドウ云フ程度マデニスルガ宜カラウト云フ一ノ意見ガアリ又ハドレ程ノ區域マデ及バフト云フコトガアレバ凡ソ入費モ立ツ譯デアアルガソレガ立タヌ以上ノ本人モ云ハレタ通誠ニ漠然ノ案デ甚ダ贊成ヲ表スルニ困ルデス、ソレデ此古墳墓ノコトニ附テハ發議者モ言ハレル通ニ我國ハ祖先ヲ崇拜スルノ國デアアルト云フコトデアリマシガ祖先ヲ崇拜スルト云フノハ誠ニ美風デアリマセウ、ソレガ美風デアラナラバ斯ヤウナコトヲ國家ガ負擔セズトモ其子孫ト云フモノガアル、中ニハナイノモアリマセウガソレハ特別トシテ此理由書ニ舉ゲテアル所ノ源ノ賴義、義家ナゾニ至ツテハ今ノ華族ノ中デ大部分ヲ占メテ居ル清和源氏ノ家ノ過半ハ此子孫デアアル、此子孫ガ先祖ノ墳墓ヲ保護スルヤウニ仕向ケタナラバ即チ以前カラノ美風ノ祖先ヲ崇拜スルト云フ趣意ニ協ヒハシナイカ、國家ガシテヤルト云フコトニナルト假令先祖ハ祀ツテ居ルモ國家ハ一ノ規則ナリ法律ナリ設ケテ保護シナケレバナラヌヤウニナツテ却テ是マデノ美風ヲ此タメニ損スルヤウナ譯デハナイカト疑フガ發議者ハドウ云フ御考デアアルカ、ソコヲ承ハリタイ、ソレカラ忠臣元勳其他國家ニ功勞アル者ノ所ニ修正シタラ宜カラウト云フコトデアアツタガ修正ガアレバ案トシテ御出シニナレバ仕易イガ強ヒテ望マヌト云フコトデアアリマスカラソレデモ宜シイガ外山君ガ認メテ忠臣元勳及國家ニ功勞アル者ト認ムル人ノ區域ハドウ云フ所マデ及スカ其標準ヲ示サレタイ、サウ云フコトデナイトドレ程ニナルカ分ラナイ、序ニ諸君ニ申シテ置キマスガ理由書ノ仕舞ニ持ツテ來テ「今日ノ如ク放任シ置クカ如キハ決シテ元勳ノ靈ニ對シテ國家ノ義務ヲ盡セルモノニ非サルナリ」ト斷言シテアルケレドモ是ハ外山君ノ一家言デ決シテ國家ガ斯ウ云フ義務ヲ持ツテ

居ルト云フコトハナイト思フ、何ヲ以テ標準ヲ極メテ居ラナケレバ本員ハ取ルニ足ラヌコト、考ヘマス

○外山正一君 何年何月マデヲ古ト云ヒ何年何月マデヲ新ト云フカト云フコトハ私ハ御答ハ出來マセヌ、御勝手ニ御取り下サルコトヲ願フ、私ノ意ハ或ハソレデモ御分リニナツテ居ルダラウカト思フ、ソレカラドノ位ナ範圍ト云フコトニ附キマシテモ今一々誰ト云フヤウナコトヲ云フコトハ私ハ出來ヌ、其邊ハ矢張取調ヲスルコトニナツテカラ權衡ヤ何カラ見ルコトニナツテ來ルノデアリマス、ソレカラ又子孫ガ爲セバ宜イト云フコト、是ハ隨分御尤ナコトデアアル子孫ノ歴然存シテ居ルノハ子孫ガ爲スノモ宜イガ子孫ノ滅亡シタノモ隨分アルコトデアリマセウ故ニ是等ニ關シテハ私ノ考デハ一家言デアツテモ、此一家言デハ國家ガ盡スベキモノ、事項ノ中デアラウカト考ヘルソレカラシマシテ古墳墓ノ如キデアアル、或ハ其外ノ昔ノモノハ、是ハ或ハ人類學上ナドカラシテ隨分國家ガ保存シナケレバナラヌト云フヤウナコトナドモ隨分アルノデアリマス、ソレト是トハ事ガ變リマスケレドモ、國家デアヤルベキコト、云フモノハ、隨分今日ハ色々ナコトガ起ツテ來テ居ル、小澤男爵ガ是マデ御認メニナツタコトヨリモ或ハ多クアルカモ知レヌ、ソレハ併シ私ノ一家言デアアルカモ知レマセヌ、然ルベク御諒察ヲ願フ

○男爵安場保和君 私モ質問只今ノ御說明中ニ此建議案ガ人類學ニ關係スルト云フノハ、ドノ點ヲ御指シニナリマスカ

○外山正一君 サウ云フコトハ言ハヌ

○男爵安場保和君 仰シヤラヌケレバ宜シイガ……

○外山正一君 サウハ言ハヌ

○男爵安場保和君 何ト仰シヤリマシタ、サウ仰シヤツタヤウデアアルカラチヨツト御問ヒ申シタノデゴザイマス

○男爵小松行正君 私モチヨツト御質問ヲ致シタイノデアリマス、此建議案ノ仕舞ノ二行目ニゴザイマス「政府ハ宜ク適當ナル方法ヲ設ケ其ノ新古ヲ論セス忠臣元勳等ノ墳墓ニシテ苟モ荒廢湮滅ノ恐レアルモノヲ保護ス」ト書イテゴザイマスガ、此建議案ハ古墳墓保護ニ關シテ新古ヲ論ゼズト云フコトニ御書キニナツテアル共御趣意ハ……

○外山正一君 ソレハ大體カラ申シマヌト云フト古イモノニサウ云フ荒廢ニ屬シテ居ルモノガアル、新ラシイノハサウ荒廢シテ居ラヌ、併シ割合ニ新ラシイモノデモ或ハサウ云フ恐レノアルモノガナイトハ言ヘヌ、ト云フ所カラ出タノデアリマス、サウ御諒察ヲ願ヒタイ

○男爵小松行正君 只今ノ御趣意デハ、新墳墓ト雖モ廢積ニ屬シテ居ルモノハ之ヲ保護シテ能ク修繕シナケレバナラヌト云フ御趣意ト承リマシタ、ソレ

テ御趣意ハ分リマシタ

○外山正一君 修繕シナケレバナラヌト云フコトハ私ハ一言モ言ツテ居ナイ

○男爵小松行正君 保護ヲシナケレバナラヌト本員ハ申シマシタ

○男爵伊達宗敦君 私モ外山博士ニ伺ヒタイコトガゴザイマス、此始メニア
ル「國家ニ功勞アル者ハ」トアル所ハ學者ヲ入レルト云フコトデアリマシタ
ガ、是ハ無論外山君ナドハ此中へ這入ルコト、思フ、ソレカラ忠臣元勳ト云フ
コトデアリマスガ、此忠臣ト云フモノハ申スモ如何デアリマスガ、朝廷ニ對ス
ル忠臣ト云フコトデアリマスカ或ハ一般ノ忠臣大石内藏之助トカ根津左衛門
ノ如キ者モ此中へ這入ルノデゴザイマスカ

○外山正一君 是ハ朝廷ニ對スル忠臣デ、他ノハナイノデ

○男爵伊達宗敦君 能ク分リマシタ

○久保田讓君 私ハ前會ニ於テ少シ修正ヲ致シタイト云フコトヲ申述ベテ置
イタデスガ今日ノ議場ノ模様ヲ見ルト此案ハ甚ダ危イ様デアリマスカラ修正
ハ殆ド無用ニナルカモ知レヌ、ケレドモ前會ヲ食ムコトハ出來マセヌカラ、
一應其趣意ヲ申シマス、是ハ外山君ノ建議案デアリマスカラ定テ學者ナドデ
非常ナユライ學者デ國家ニ功勞アル者ガアル、ソレ等ノ墳墓ガ餘程酷イ有様
ニナツテ居ツテ後世子孫モ之ヲ保護スルコトガナクシテ甚ダシイコトニナツ
テ居ルト云フコトハ豫テ承ツテ居リマスノデ、ソレ等ノコトガ重ナコトデア
ラウト思ツテ居ツタ、所ガ其忠臣元勳ト云フモノガ主デアアル、ソレ等ハ理由
書ヲ見テモ忠臣元勳ト云フコトデアアル、ソレデ其後ニ外山君モ御氣附ニナツ
タカ今日ノ御説明ニ據レバ理由書ノ外ニ學者ト云フコトヲ餘程澤山御説明
ニナツタ、ソレ等ハ又其本文ノ中ニモ學者技術者マデ附加ヘテ宜イ様ナコト
マデ御説明ニナツタノデアアルカラ外山君モ其御積ニナツタト思フ、ソレデ私
ハ初カラドウカサウ云フ方ノコトヲ餘程注意シタイト思ヒマシタカラ其事
ニ就テ修正ヲシタイ、私ノ修正ハ「忠臣元勳」ト云フ下ニ「碩學鴻儒」ト云フ
コトヲ入レタイ其他四行目、六行目十行目等皆其通デアリマス、サウ云フコ
トニ致シタイ、是ダケノコトヲ……

○男爵末松謙澄君 質問ガ了リマシタナラバ一應意見ヲ述ベタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(男爵末松謙澄君演壇ニ登ル)

○男爵末松謙澄君 諸君、只今久保田君カラ此案ハ或ハ廢滅ニ歸シハシナイ
カト云フ御懸念ガゴザイマシタ、右ノ如キ勢ノ惡ルイモノデアルト云フコト
デアリマスレバ私ハ此所ニ一番大谷刑部ヲ極メ込マザルヲ得ヌト考ヘマス、
私ハ此案ヲ贊成致ス者デアリマス、ドウモ一國ノ盛衰文運ノ隆替ナドノコト

(九)

ヲ考ヘテ見マスルト云フト隨分古イコトヲ貴ブノ思想ト云フモノハ十分ニ蒸
陶シ十分ニ之ヲ惹起スコトガ肝要デアルト考ヘルノデアリマス、世ノ大變革
ニ方リマシテハ或ハ此ノ如キノ想像ガ一旦消滅スルコトガアルノデアアル、即
チ明治維新ノ初ニ當リマシテハ如何デゴザイマシタラウ、實ニ日本ノ人心只
新ヲ是レ競フコトニナリマシテ古キモノト云フモノハ盡ク之ヲ破壞スルヤウ
ナ精神ニナツテ、ソレヲ以テ即チ開化デアアル即チ文明デアアルト云フヤウニ唱
ヘテ居ツタノデアリマス、甚シキハ公園ノ樹木ヲ伐リ或ハ土手端ノ數百年ノ
松ノ木ヲ伐倒シ或ハ往來ノ竝木ヲ伐倒スト云フヤウナルコトヲ以テ大ニ其
宜シキヲ得タルモノ、如クニ考ヘタル譯デアッタノデアアルノデアアル、併ナガ
ラ是等ハ世ノ治マルニ從ツテ靜ニ考ヘマスルトキニハ甚ダ其宜シキヲ得ザル
考デアルト云フコトハ明デアアルノデアリマス、從ツテ又古墳墓ノ如キニ至
リマシテモ十分ニ是ハ諸君ノ御考ヲ願ハナクテハナラヌデアアル、今日ノ動
議ノ如キハ嘲弄的ニ排斥スベキ實際事柄デナカラウト考ヘル、西洋諸國ノ實
狀ナドモ御覽デアアルデアラウ、彼ノ志ハくすびやノ墓ノ如キハ如何デアアル
一ノ民間ノ微々タル人デアッタケレドモ、彼ノ有名ナル文學上ノ院本ヲ澤山
作ツタル人デアアルガ故ニ其墳墓ニハ今日ト雖モ世界各國、隨分日本人モ往キ
マシタラウガ、無論亞米利加人其他大陸諸邦ノ人ナドハ時々殊更ニ其墳墓ヲ
尋ネル、西洋ノ禮義デアアルカラ日本ノ香花ト云フコトハ申サレマイカモ知レ
ヌガ、併ナガラ日本ノ言葉デ形容致シマスレバ香花絶エズト云フ景況デアアル、
其他忠臣義士碩學鴻儒ノ墳墓ナド、云フモノハ餘程人ノ尊敬ヲ來スモノデア
ルノデアアル、ソレノミナラズ公法上ニ就キマシテ、私ノ公法上ト申スモノト
云フモノハ、市町村制トカ府縣制トカ云フヤウナル事柄ヲ指スノデ、ソレ等
ノ中ニモ歴史的ノ事蹟ハ成ルベク保存スルヤウナル方法ガ設ケテアル、既ニ
日本ノ市町村制ニ於テモ其箇條ヲ學ンデアアルノデアアル、即チ歴史的ノ目的物
ヲ之ヲ變更スルトカ或ハ廢絶スルトカ云フヤウナコトハ出來ナイ、之ヲ多少
變更スルニモ其筋ノ許可ヲ得ナクテハ出來ナイト云フヤウナ制度ヲ今日ハ既
ニ設ケテアルノデアアル、然ルニ日本ノ公衆ハ其箇所ニ就テ如何ナル感シヲ爲
シテ居ルカ更ニ之ヲ實地ニ應用致シテ唯今申ス所ノ英雄ノ生レタ蹟或ハ此墓
所……墓所ノデハナイ隨分西洋ナゾデアハ或ハもざりと生レタ家デアルトカ
大學者ノ住ンデ居ツタ葉屋デアルト云フモノハ隨分公費ヲ以テ之ヲ保存シテ
居ルト云フ例ガアル、今日ハソコマデハ至リマセヌガ墳墓ナゾハ其中デアアル、
日本ニ於テ是等ノ感覺ヲ少シモ生シテ居ナイノデアアル、則チ先刻外山君ガ言
ハレタ池上ノ木下順庵先生ノ墓ハ如何ナル有様デアアル、元々是ハ池上ノ本門
寺ノ境内中ノ一分デアッテ木下一家ノ墓所デアッタ、ソレヲ今日ハ敲キ毀ハ
シテ料理屋ノ庭ニシテアル、サウシテ其墓ヲ取ツテ除ケテ石碑ダケヲ横ノ隅

ノ方ニ置イテアルト云フ有様デアル、是ハ實ニ甚シイ話デハナイカ、地方官
 デ之ヲ認メナイノデアアルカ、寺ノ者モ何トシテ斯様ナコトヲ看過シタノデア
 ルカ、當リ前ノコトデアリマシタナラバ今ノ如キ墓地ハ之ヲ除ケテ料理屋ノ
 庭ニスルナゾト云フコトハ決シテ出來得ベキ筈ガナイノデアアル、監督ガ行届
 カナイカラスノ如キコトガ起ッタニ相違ナイト思フ、是等ノコトハ續々各地
 方ニ起ルデアラウト思ヒマス、無論今日此建議ヲ致シマシタ所デ其方法ハ幾
 ラモアリマセウ成程先刻小澤男爵カラ言ハレタ通、源氏ナゾノ子孫ガ澤山ア
 リマスカラ其先祖ノ墓所ナゾハ子孫ガ之ヲ宜シク保護シテモ宜イト思フガ之
 ヲ止メヤウト云フノデアハナイ、併シ實地如何デアアル隨分堂々タル數十方ノ家
 祿……領地ヲ持ッテ居ラレタ華族デ今日モ隨分公債證書ノ何百万ト持ッテ御
 出ナサル華族デ現ニ其先祖ノ墓ヲ一ツノ世話モセナイ人ガアル

(男爵伊達宗敦君「ドコニアリマスカ」ト述フ)

方々ニアルノデアアル、是モ決シテ私ハ唯今諸君ニ向ッテ之ヲ誹謗スルトカ諷
 謗スルトカ云フノデアハナイ、隨分諸君ノ御家事モ色々御多端ノコトガアリマ
 セウカラ或ハソコマデモ手が及バナイコトモゴザイマセウケレドモ是ハ國家
 ノ全體カラ見マスルト隨分遺憾ニ思フコトガ多イノデアリマス、故ニ此建議
 ヲ通シマシテ相當ナル方法ヲ設ケテ必ズシモ國庫カラ澤山ノ金ヲ出スヤウナ
 コトハ致サナクテモ然ルベキ方法ヲ設ケテ或ハ地方ノ吏員ナドニ此ノ如キコ
 トハ注意ヲセヨトカ、斯様ナコトハ斯ウモセヨトカ云フ訓令ヲ與ヘタダケデ
 モ相當ノ效能ハアラウト思フ、如何ニモ吾々考ヘテ見マスルニ一世ニ名ヲ成
 シ一世ニ功勞ヲ爲シタモノハ一タビ地下ニ沈メバ幾十年カラ經テ子孫タル者
 ガナイヤウナルモノニ於テハ其石碑ハドコカニ持ッテヤラレテ料理屋ノ料理
 場ノ片隅ニマデ抛リ出サレルト云フヤウナ有様ニナルト云フモノハ如何ニモ
 残念デハゴザリマセヌカ、是等ノコトニ就テハ餘リ諸君ニ於キマシテモ文明
 ト申シテモ真ノ文明デアリマセヌカ、誤ッテ認メラレル所ノ文明的ノ乾燥ナ
 ル思想ヲ以テ此ノ如キコトハ決シテ判斷スベキモノデアナイト思ヒマス、實ニ
 外山正一君ノ如キ當リ前ノ規則カラ論シマシタナラバ此人等ガ先ヅ死シタナ
 ラバ自分ノ骨ハ犬ニヤツテモ宜シイト云フ一休和尚ノ如キ悟リデモ開カルベ
 キ哲學者トカ云フ人デアアル、其人デモ此ノ如キ感情ヲ起サレルノハ以テ此事
 ノ決シテ世ノ文明ト云フモノハ顯象的ニ唯所謂きてりやる實物的ノ事バカリ
 ヲ考ヘテ往クモノデアナイト云フコトノ一證デアラウト思フ、私ハ外山君ノ如
 キ人カラ此ノ如キ動議ノ出タルノハ實ニ珍シイコト、感シマスルデ是等ノ點
 ヲ以テ諸君ニ於キマシテモ十分ニ此所ヲ御考ニナリマシテ責テ委員會ニデモ
 付シマシテ相當ナ一ツ御詮議ノアルコトヲ希望致シマス、私ハ則チ此案ニ贊
 成ヲ致シマス者デアリマス

○男爵伊達宗敦君 チョット質問致シマス、末松君ノ外山君ニ御贊成ノ御趣
 意ハ御陳ニナラタ所デ分明デアリマス、ソレカラ唯今終リニ於テノ御一言ニ
 或ル華族ト言ハレタカ、何ト言ハレタカ覺マセヌガ公債證書ノ百万圓モ
 持ッテ居ル華族デ先祖ノ墳墓ヲ疎カニスルトカ保護ガ行届カヌトカ云フコト
 ヲ御述ベニナラタヤウニ思ヒマス、是ハ御熱心ノ餘リニ御口ガ滑ッテ戯ノヤ
 ウニ云ハレタノデアリマス、若クハ末松君ニ於テ事實斯様ナコトガアルト
 確カト御認ニナラタノデゴザイマス、是ハ少シ考ニモナルコト、思ヒマス
 ラ確メテ置カヌトナリマセヌ

○男爵末松謙澄君 私ガ唯今申シマシタ百万圓ト云フノハ必ズシモ正數ヲ百
 萬圓ト申シタコトデヤナイ、即チソレハ富ノ大ナルト云フ意味デ申シタノデ
 御了解ヲ願ヒマス、又私ガ何ノ某ハ斯ウデアルト云フコトハ公然ト茲ニハ言
 ハレマセヌガソレハ申スコトヲ好マズ、又必ズシモ茲ニ諸君ノ前ニ出ス程ノ
 例ヲ茲ニ舉ゲルト云フコトハ又ソレハ調査ヲ要スルコトデアリマス、ソレハ
 私ハ好マナイノデアリマス、唯ソレハ汎ク申シタノデアリマス、汎ク申シタト
 見マスルト今日隨分先祖ノ墓……必ズシモ先祖ト申シマシテモ其直接ナザキ
 ノ先祖ナゾニ至ッテハソレ程ノコトハゴザイマス、併シ古ノ遠祖デア
 ルトカ何トカ云フ人ニ就キマシテハ隨分ソレ等ノコトガ澤山アラウト考ヘル
 ノデアリマス、即チ外山君モ段々言ハレタ如ク其例ガアラウカト存ズルノデ
 アル、私ハ汎ク此古人ノ墳ナゾニ就キマシテハ或ハ荒廢ニ屬シテ居ルモノモ
 アルト云フコトヲ主トシテ申シマシタノデアリマス

○男爵伊達宗敦君 チョットマダ少シ了解致シマセヌ、サウシマスルトサウ云
 フモノガアルカナイカハ御存ジガナイ、決シテ知ラヌ併ナガラアルカモ知レ
 ヌト思フ、誠ニ漠然トシタ話デアッテ言ハバ例ニ御取リニナルニ足ラヌ、末松
 君御自身モサウ云フモノガ此華族社會ニアルカナイカ御存ジモナイノデ……
 斯ウナルノデスカ、但シアルコトハシツカリト人名マデモ知ッテ居ル、併ナガ
 ラ此場デ述ベルノハ穩デアナイト云フコトナレバソレハ本員モ承ルコトヲ好マ
 ヌノデアリマス、併ナガラ此公開ノ席ニ於テ御公言ニナル以上ニハナイコト
 ヲ御述ニナル氣遣ハナイト思フノデアリマス、ソレデ自分ハ確ニ何ノ某ト云
 フコトハ知ッテ居ルケレドモ穩デアナイカラ述ベナイト云フ御趣意デアレバ後
 トデ又再ビ御尋スルコトニ致シマスガドチラデアリマス

○男爵末松謙澄君 私ハ必ズシモ例ニ出スニ足ラナイ程ノ事柄デアアル、或ハア
 ラウカト思フト云フ如キ程ノ空漠ナコトデモナイノデアリマス、他ニ向ッテ愈々
 是ハ斯ウデアルト云フコトヲ諸君ノ前ニ御披露シテ宜シイト云フ程ノコト
 デモナイノデアリマス、是等ノコトハ諸君御考下サイマスレバ能ク御分リニ
 ナリマセウト思ヒマス、何ゾ必ズシモ直接ノザキノ先祖ニ對シタコトヲ申

スノデアリマセヌ、遠祖ナゾニ就テサウ云フ形蹟ガアルヤウニ考ヘマス、ソレダケ……

○男爵伊達宗敦君 チョットモウ一遍私ガ述ベマスカラ……私ハ斯ウ承ツタヤウニアリマスガ果シテ私ノ承ツタ通ニ違ガアルカナイカト云フコトヲ確メテ置キマスルト末松君ハアルトモナイトモ分リハセヌ、御自分デ御存ジナイコトデ詰リ煙ノ如ク雲ノ如キ御考デ、アルトモナイトモ分ラヌケレドモガ或ハアルカモ知レヌ、詰リ何モ當テモ何ニモナイ御話デアルノニ、御言葉ノ中ニハ或ル華族ハ先祖ノ墓ノ保護サヘ行届カナイト云フ語氣ガアツタノデス、サウスルトツレハ全クアナタノ言ヒ間違デアル、斯ウ云フ趣意デアリマスカ、アツタナラバ大變ナ話デアル、アリハセヌケレドモアツタラ大變ナ話デアル、斯ウ云フノデスカ

○男爵末松謙澄君 私ハ前ニ述ベタヤウナ譯デアリマス、決シテ諸君ニ對シテ後段ノ意味デ申シタノデアリマセヌ、併ナガラ事實ニ於テ……

〔男爵伊達宗敦君「モウ少シハツキリ」ト述フ〕
ツレヲ今必ズシモ舉ゲテ斯ウダト云フコトハ好マナイノデアリマス、遠祖ノ墓ノコトニ就テ隨分左様ナ形蹟ガアル古戰場ナドヲ吊ツテ見ルト隨分サウ云フコトガアルノデアリマス、ソレダケヲ申シタノデアリマス

○松岡康毅君 私ハ此建議案ニ贊成ノ一人デゴザイマス、殊ニ此贊成ノ久保田君ナドカラ酷ク景氣ガ悪ルイト云フ落膽ヲシタ痛聲ノ御意見ガ出マシタ、又唯今末松君カラ贊成ノ大演説ガアツテ大變ニ打壞ハシマシタ、ドウモ大ニ此建議案ノ不爲メナ演説ニ聽取リマシテゴザイマスガ本員ノ贊成致シマスル所ハ提出者ガ先刻演壇デ述ベラレマシタヨリ何處マデモ廣イ方ノ……

〔演壇デ願ヒマス〕ト述フル者アリ
斯ウ云フコトハ範圍ガ廣イ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 長ケレバドウ演壇デ願ヒマス

○松岡康毅君 モウ短カウゴザイマス、誠ニ……
〔大演説ヲヤルベシ〕分ルヤウニヤルベシ「長ク澤山」ドウゾ打壞サヌヤウシテ下サイ「ト述フル者アリ」

〔松岡康毅君演壇ニ登ル〕
○松岡康毅君 是へ出マス程後ニ殘リハゴザイマセヌ、極短ク……

〔安場保和君「成ルタケ擴充シテ分ルヤウニ願ヒマス」ト述フ〕
本員ノ目的ト致シマスルノハ是ハ先刻提出者ノ述ベラレマシタ其中ニアル所ノ即チ學者宿儒トカ碩儒トカ云フ類、其他技術ニ於キマシテモ大ニ國家ニ功勞ノアルト云フヤウナ人ノ墳墓、其墳墓ト云フモノモ子孫ガ歴然トシテ立派ニ廟墓ヲ拂ツテ種々ノ祭祀モ勤メテ居ルト云フガ如キモノナラバ決シテソレ

ヲ國家ガセヌケレバナラヌト云フ義務ガアルトハ申シマセヌ、又公債證書ノ百万圓モ持ツテサウシテ先程ノ御靈屋ヲ立派ニシテ居ルト云フ源家藤原家ノ御先祖ノ如キハ是ハ國家ガ何モソナニ手ヲ突ツ込マヌナラヌト云フ必要ハ無論アリマセヌ、唯此提出者ノ先刻述ベマシタ中ノ一部分ノ古今有名ナル學者デサウシテ其子孫ガ其墳墓ヲ能ク守ルコトモ出來得ズ草萊ノ間ニ埋没シテ仕舞フト云フヤウナコトハ是ハ誠ニ惜ムベキコトデソレヲ國家カラ應分ノ補助ヲ爲シマスル時分ニハ一ハ祖先崇拜ト云フ我ガ美風ヲ保存スルノ助ヲ爲スノ道ニモ適ヒマスルシ、又學生等ニ其歴史ノ話カラ其人ノ又歴史ヲ説キ聞カセタリ致スコトハ其功能ト云フモノハ餘程廣イモノデアラウト信ジマスカラソレデ此案ヲ妙ナ行掛リカラ景氣ガ善クナツタリ悪クナツタリスルト云フコトノナイヤウニ致シマシテ成ルベク委員ヲ設ケラレマシテ其委員ニ掛ケテ此意味ヲモウ少シ擴充致シマシテサウシテ更ニ諸君ノ贊成ヲ得ルヤウナコトニ致シタイト思ヒマスルノガ本員ノ願デゴザイマス、其委員ニ掛ケタイト云フコトハ前ニ贊成演説ヲセラレマシタ末松男爵カラモ述ベマシタコトデゴザイマスガ本員モドウカ是ハ一ツ九人ノ委員ヲ設ケラレマシテサウシテソレニ掛ケテ充分審査ヲシテ建議ノ成立ツコトニドウゾ願ヒタイト思ヒマス、是ダケヲ申シ置キマス

○田中芳男君 チョット質問ヲ……松岡君ニ質問ヲ致シタイ、唯今御贊成ノ御演説ガゴザイマシテ能ク分リマシタガ併シ委員ニ御付託ニナリマスレバ唯今彼是申スニハ及ビマセヌケレドモ一言チヨット御聽キ下サルヤウニ致シタイ、ソレハ此案ニ私ハ絶對的ニ反對ヲ致スデハ決シテナイ至極良イコト、考ヘマスルカラ、ソレ故御尋ヲ致シマス、斯様ナコトガ出マスルト處分上ニ餘程御困リナサルコトガ世ノ中ニ起ラウト考ヘマスカラ所謂實物取調委員ノヤウナモノヲ拵ヘタヤウニ全國ノ古墳墓取調委員ト云フモノガ五年カ十年ヤリマシタナラバ餘程正シイコトニナルデアラウ、サウシタラ正シイコトニナリマセウケレドモ實際日本ニハ歴史ガナイ……歴史ガ備ラヌ、ドナタノ古墳墓ハ何所ニドウナツテ居ルト云フコトガ分ラヌ、分ラヌト小野ノ小町ノ墓ガ三ツモ出ルヤウニナルト思ヒマスカラ何レ其邊ノ御考ガ附カネバソレヲ取扱ニモ困ルデアラウト思ヒマスカラソレ等モ委員付託ノ説ガ成立チマスレバ尙ホ其席へ出マシテ申述ベマスカラ此所デハ申シマセヌ

○松岡康毅君 御尋ハナイノデゴザイマスナ、私カラ御答スルヤウナ疑問ハ殘リマセヌヤウデゴザイマスナ

○田中芳男君 ハア宜シウゴザイマス

○久保田讓君 私モ委員付託ニ贊成致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 松岡君ヨリ委員付託ト云フ説ガ出マシタガ……

○男爵金子有卿君 贊成
○男爵小松行正君 贊成

(贊成々々)ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 問題ニ供シマス前ニテヨット御尋シマス、委員ノ數竝ニ選ビ方ハドウ云フコトニ……

○松岡康毅君 唯今數ハチヨット九名ト申シマシタガ選舉ノ仕方ハ議長ニ御依頼シタイノデアリマス

(贊成々々)ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤磨君) 松岡君ノ動議ニ御異議ガナクバ其通ニ決シマス

(異議ガアリマス)ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガアレバ起立ニ諮ヒマス、松岡君ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 多數ト認メマス、次ニ復祿及復族祿ノ請願會議ヲ開キマス

○馬屋原彰君 是ハ極テ簡單デゴザイマスカラ此席テ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 朗讀ハ省略致シマス

(本意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

意見書案

復祿及復族祿ノ件

第一 島根縣松江市西茶士族香西門大夫外九十二名呈出

第二 岡山縣西北條郡津山町士族榊原貞一外四百三十六名呈出

第三 茨城縣鹿島郡高松村平民栗林親綱外九名呈出

第四 鳥取縣氣高郡松保村平民上地信光外九十六名呈出

第五 鳥取縣岩美郡本莊村平民村上源藏呈出

第六 愛媛縣周布郡多賀村士族飯尾將維呈出

右ノ請願ハ陳述スル所ノ事由各々多少ノ差異アルモ要スルニ第一第二ハ曾テ家祿ヲ奉還シタル者ニシテ當時受領シタル資金額ヲ以テ其ノ後他ノ士族ニ下附セラレタル金祿公債證書ノ額ニ比スレハ其ノ差違甚シケレハ同一士族タルノ故ヲ以テ更ニ其ノ不足額ヲ追給セラレムコトヲ請願シ、第三第四ハ舊神職ニシテ士族ニ編入セラレヘキ資格アル者ナルニ故ナク民籍ニ降サレタレハ他ノ同職ノ者ノ如ク士籍ニ列セラレムコトヲ請願シ、第五ハ先代村吏勤務中村民ノ罪ヲ一身ニ負ヒ自刃シタルカ爲永世祿ヲ給セラレシ者ナレハ

士族ニ列シ家祿ヲ受クヘキニ未タ思命ヲ蒙ラサレハ其ノ復舊ヲ請願シ、第六ハ藩制改革ノ際故ナク其ノ族祿ヲ失ヒシカ曩ニ士族ニ復セラレタレハ更ニ其ノ祿ヲ復セラレムコトヲ請願スルモノニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊六通及送付候也

明治三十年一月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣伯爵松方正義殿

○馬屋原彰君 此請願ハ前會議ニモ本院ニ提出致シマシタルモノト同一ノモデゴザイマス……

(松岡康毅君)演壇テ願ヒマスト述フ

極短カウゴザイマス、要スルニ祿ヲ復シテ貫ヒタイ、族祿ヲ復シテ貫ヒタイト云フ趣意ニ止マリマスノデゴザイマス、依ッテ請願委員會ニ於キマシテハ尙ホ能ク其理由及ビ先例ヲモ取調ベマシテ此分ハ院議ニ付スベシト査定致シタル次第デアリマスカラドウカ此意見ノ通可決セラレンコトヲ希望致シマス

(異議ナシ異議ナシ)ト呼フ者アリ

○男爵小松行正君 チヨット馬屋原君ニ質問致シタウゴザイマスガ此復祿ノ請願ハ家祿賞典祿ノ處分法案ニ關スル請願デゴザイマスカ……

(子爵小笠原壽長君)ドウカ大聲ニ願ヒマス、チヨットモ分リマセヌト述フ

家祿賞典祿處分法案ノ中ニ籠ルベキ請願デゴザイマスカ、籠リマセヌ請願デゴザイマスカ

○馬屋原彰君 其御尋デスカ、或ハ中ニ籠ルモノモアルカモ知ラヌ、又籠ラヌモノモアリマセウ、ソレハ此案ヲ御覽ニナッテモ色々千差萬狀違ヒマス、ハッキリ愈々此案ガ這入ルカ這入ラヌカト云フコトハ御確答ハ出來兼ネマス調ベテ見ナケレバ分ラヌ

○男爵小松行正君 本員ハ三回程拔ケマシタガ其餘ハ悉ク請願委員ニ當選シマシタガ其復祿族ノ請願ニハ熱心ニ贊成致シマス譯デアリマス、併ナガラ唯今馬屋原君ノ御説ニハ此案祿賞典祿處分法案ノ中ニ這入ルモノモ這入ラヌモノモアルト云フコトデゴザイマス、其邊ハ詳細ニ御取調ニナッタコト、存ジテ居リマシタガ……併ナガラツレバ一括ニ束ネテ此請願ヲ政府ニ送ルト云フコトデゴザイマスレバ其異ナルモノダケヲ政府ヘ送リマシテ此處分法案ノ中ヘ這入ルモノハ處分法案デ何シマスルカラ請願ハ參考ノタメ政府ヘ送ルノデアリマスカラツレダケヲ區別ヲ致シマシタラ宜カラウト存ジマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 右請願ヲ採擇スルコトニ別段御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
次ハ營業稅法改正ノ請願

意見書案

營業稅法改正ノ件

岐阜縣岐阜商業會議所副會頭岡本太右衛門呈出

東京市東京商業會議所會頭澁澤榮一呈出

靜岡縣濱松商業會議所會頭鶴見信平呈出

鹿兒島縣鹿兒島商業會議所會頭宮里正靜呈出

高知縣高知商業會議所會頭松村俊男呈出

愛知縣名古屋商業會議所會頭奧田正香呈出

石川縣金澤商業會議所會頭龜田伊右衛門呈出

三重縣津商業會議所會頭川喜田四郎兵衛呈出

長崎縣長崎商業會議所會頭松田源五郎呈出

宮城縣仙臺商業會議所會頭遠藤敬止呈出

京都市京都商業會議所會頭濱岡光哲呈出

右ノ請願ハ凡ソ稅法ヲ制定スルノ要義ハ課稅ノ方法簡明ニシテ公平ヲ失ハサルニ在リ苟モ課稅方法煩雜ナレハ獨リ徵稅費ノ多額ヲ要スルノミナラス納稅者非常ノ苦痛ヲ感シ遂ニ負擔公平ヲ闕クノ結果ヲ生スヘシ曩ニ制定セラレタル營業稅法即是ナリ何トナレハ該稅法ノ標準ヲ定ムルヤ第一建物ノ大小及其ノ賃賃價格ノ多寡ニ據ルモ營業ノ狀態ニ由リ實際ノ收利ハ大ニ之ニ反シ公平ヲ得ス第二從業者ヲ以テスルモ營業ノ種類ニ依リ其ノ數一定セズ隨時増減スルモノ少カラス且商家ノ丁稚製造家ノ徒弟等ヲ算入スルハ苛酷ニ失シ舊貫ヲ壞リ興業ヲ妨クヘク第三資本金額ヲ以テスルモ其ノ多寡ハ必ス收利ト比例セサルノミナラス一個人ノ營業資本ノ如キハ之ヲ知ルニ由ナク其ノ固定資本ト爲リタル者ヲ算定スル亦容易ノ業ニ非ス第四賣上金額ヲ卸賣小賣ノ二種ト爲シ其ノ稅率ヲ異ニスルモ實際二者ノ區分甚々明ナラサレハ之ヲ識別スルニ由ナシ是レ公平ニ似テ却テ不公平ニ陥ルカ如キハ其ノ缺點ノ最モ著シキモノナレハ之ヲ實施セラレハ收稅官ト納稅者トヲシテ煩雜ニ堪ヘサラシムルノミナラス商工業ノ發達ヲ害スルニ至ルヘシ故ニ之ヲ改正シ一個人ノ營業ニ對シテハ物品販賣業ハ賣上金額、銀行業ハ總益金、金錢貸付業ハ貸付金額、保險、物品貸付製造印刷寫真、倉庫、運送、運河、棧橋、船渠、船舶、碇繫場、貨物陸揚場、席貸、料理店、旅人宿ノ諸業ハ收入金額、土木請負業、勞力請負業ハ受負金額、公ナル周旋、代辦、仲立、仲買ノ諸業ハ報酬金額ヲ以テ課稅ノ標準ト爲シ會社組織ヲ以テスル營業ハ其ノ利益金ヲ課稅ノ標準ト爲シ且稅額ハ相當ノ輕減ヲ爲シ要スルニ課稅ノ方法ヲ簡明ニ

シ負擔ノ公平ヲ得セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊十一通及送付候也
明治三十年一月 日
貴族院議長公爵近衛篤磨

內閣總理大臣伯爵松方正義殿

貴族院議長公爵近衛篤磨

○馬屋原彰君 是モ唯此營業稅法ハ甚ダ苛細ニシテ甚ダ不公平デアルト云フヤウナ主意デ此改正ヲ願出デタル譯デゴザイマスカラ是モドウノ前通贊成ヲセラレンコトヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 是モ御異議ハゴザイマセカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

次ハ庄内川改修ノ請願

意見書案

庄内川改修ノ件

愛知縣東春日井郡勝川町長丹羽正雄外三十六名呈出

右ノ請願ハ庄内川ハ全國大河ノ一ニ居リ其ノ源ヲ美濃國惠那郡ノ山間ニ發シ尾張國ニ入り矢田川ニ會シ東西春日井、愛知、海東諸郡ヲ貫キ内海ニ注ク所ノ一大流ニシテ泥沙年々堆積シ川底ノ隆起水田ヨリ高キコト十八尺ノ上ニ出ツルモノアルニ至ル一朝霖潦ノ到ルヤ濁浪氾濫堤塘ヲ決潰シ橋梁ヲ漂蕩シ沿岸人民ノ禍害ヲ被ル頻年絶ユルコトナク殊ニ客年大洪水ノ害ノ如キハ最モ悲惨ヲ極メ田畑宅地ノ荒廢家屋ノ流失堤防ノ破壞等甚シキノミナラス人民死傷スルモノアルニ至レリ故ニ之カ爲ニ被ル所ノ損失ヲ算スルニ

近時二十五年間ニ於テ少クモ四百貳拾五萬參千餘圓ニ下ラス其ノ土木費ノ巨額ナルト沿岸人民ノ疲弊セルハ實ニ想像ノ外ニ出ツルモノアリ本川改修ノ必要ハ舊藩廳モ既ニ之ヲ認メ又愛知縣廳ニ於テモ曾テ其ノ測量ニ著手シ

明治二十四年、二十五年ハ海東、東西春日井各郡會ヨリ縣知事ニ建議シ二十年ハ愛知縣會ニ於テ改修ヲ遂行セサルヘカラサルモノト決議シ內務大臣ニ建議セリ抑モ本川改修工事ハ實ニ焦眉ノ急務ナルモ如何セン其ノ工費巨額ニシテ到底災餘窮民ノ負擔シ能ハサル所ナレハ速ニ國庫金ヲ以テ完全ノ

工事ヲ施シ沿岸百二十六箇町村人民ヲ救濟セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十年一月 日

內閣總理大臣伯爵松方正義殿

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

貴族院議長公爵近衛篤磨

○馬屋原彰君 是モ前々會ヨリ始終出ルノデアリマシテ諸君モ御承知ノ通デアリマスガ要スルニ矢張國庫ノ費用ヲ以テ此川ノ改修ヲシテ貫ヒタイト云フノデアリマス、ドウゾ是モ贊成ヲ願ヒマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 然ラバ可決ト認メマス、次ハ養畜肥料場獎勵保護ノ請願

意見書案

養畜肥料場獎勵保護ノ件 茨城縣新治郡小櫻村平民坂入仁平外二百七十七名呈出

右ノ請願ハ養畜ノ事タル農業上必要闕クヘカラサルモノニシテ往時舊幕府ニ於テハ其ノ利便ヲ圖リ各地ニ養畜肥料場ヲ設ケ牛馬ノ蕃殖ト農場肥料トニ充テ大ニ之ヲ獎勵保護セシニ維新ノ際公共養畜肥料場及肥料採取場等ハ悉ク官有ニ歸シ漸ク樹木ヲ栽植シ其ノ成長スルニ隨ヒ青草ノ萌芽ヲ妨ケ肥料ト糞肥堆糞供給ノ途ヲ失フニ至レリ蓋養畜ニ於ケル牛馬羊ノ必要ハ言フ俟マス農家ハ之カ勞力ト肥料トヲ得テ農産物ヲ生シ殊ニ良馬ノ軍用ニ必要ナルハ之ヲ日清事件ニ徴シテ明ナリ今ヤ農家ハ人口ノ増加ト共ニ益々瘠土ヲ開墾スルモ牧畜肥料場ノ僅少ナルカ爲肥料ノ供給ニ乏シク頗ル困難ヲ極メタリ故ニ從前ノ養畜肥料場等ハ悉ク存置シ或ハ之ヲ擴張シ獎勵保護法ヲ制定セラレ益々農事ノ發達ヲ助ケ海外輸出ヲ圖ルハ今日ノ急務ナリトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十年一月 日 貴族院議長公曾近衛篤磨

内閣總理大臣伯耆松方正義殿

○馬屋原彰君 是モ至ッテ簡單ナモノデアリマシテ唯色々悪性ナル肥料ヲ用ヒテハイケナイカラ、此保護ヤラ或ハ肥料場ノ獎勵等ニ附イテ規則等ヲ設ケテ貫ヒタイト云フ主意デアリマスカラ是モ御贊成ヲ願ヒマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 然ラバ是モ採擇スベキモノト決シマス、次ハ下ノ關港ヲ輸出入港ト爲スノ請願

意見書案

下ノ關港ヲ輸出入港ト爲スノ件

山口縣赤間關市西端町平民伊藤房次郎外四萬四千四百三十三名呈出 右ノ請願ハ下ノ關ハ我邦西門ノ咽喉東西交通ノ要衝ニ當リ天然ノ良港ヲ爲

シ千有餘年來通商ノ地ニシテ貨物集散ニ便ナリ明治十六年朝鮮貿易港ト定メラレ二十二年米外四品ノ特別輸出港トナル然レトモ實際ノ狀況ヲ視ルニ未タ商路ノ否塞ヲ開通スルニ足ラス去ル二十八年ノ統計ニ徴スルニ本港輸出入貨物金貳千貳百餘拾餘萬圓ニ達シ之ニ門司港ノ輸出入ヲ加フレハ其ノ巨額ナル橫濱神戸ヲ除キ全國ノ第一位ヲ占ム而シテ其ノ貨物タルヤ率ネ神戸長崎ヲ經由シ冗多ノ運賃ト無益ノ時日ヲ消費シ爲ニ出入其ノ利ヲ薄クスルモ猶且此ノ如シ是レ地ノ理ノ宜キヲ證スルニ足レリ故ニ本港ヲ輸出入港ト定メラレムカ地方ニ於ケル海陸物産益々増加シ爲ニ農工商業ノ發達スル知ルヘシ赤間關市民ハ之レカ實施ニ便ナラシメムカ爲曩ニ下水溝改良ヲ起工シ竣成近ニ在リ其ノ他港灣ノ改築水道ノ敷設等之レカ準備ヲ經營セサルナシ是レ皆本港ヲ輸出入港ト定メラレムコトヲ熱望スル所以ナレハ速ニ本港ヲ以テ二十九年法律第十八號ノ範圍内ニ加ヘ輸出入港ト指定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊十五通及送付候也

明治三十年一月 日

貴族院議長公曾近衛篤磨

内閣總理大臣伯耆松方正義殿

○馬屋原彰君 是モ下ノ關ハ御案内ノ通是マデ特別輸出港デアリマシタガツレバ尙ホ未ダ商路ガ開通致サヌダ甚ダ不便デアアルカラモウ一層區域ヲ廣メテ輸出入港ニシタイト云フノ趣旨デアリマス、是モ贊成ヲ願ヒマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 然ラバ可決ト認メマス、次ハ函館ニ市制ヲ施行スルノ請願

意見書案

函館ニ市制ヲ施行スルノ件

北海道函館區末廣町平民小川幸兵衛外百九十名呈出 右ノ請願ハ現今函館ニ施行セラル、所ノ區制ハ明治十二年制定ノ舊法ニシテ極メテ不完全ナルモノナレハ速ニ純然タル市制ヲ施行シ其ノ發達ヲ大成シ其ノ財政ヲ整理スルコトヲ得セシメラレムコトヲ望ムモノニシテ本區ノ發達ハ明治十一年人口三萬一千ナリシニ今ヤ七萬一千以上トナリ諸般公共事業賑々其ノ歩ヲ進メ嚮ニ參拾五萬圓ノ公借金ヲ募リ水道ヲ敷設シ今又共有物賣却金拾七萬圓ニ加ルニ四拾五萬圓ノ公借金ト貳拾萬圓ノ國庫補助ヲ以テ築港ノ大工事ヲ起シ其ノ他數多ノ事業ヲ成シ前途益々多事ノ勢ナルニ未タ自治ヲ行フヲ得ス常ニ命ヲ監督官廳ニ聽クカ爲時機ヲ失シ措置ヲ誤ル

コト少シトセス而シテ市制ヲ施行セハ人民ノ負擔ヲ増スハ勢免レサル所ナ
 レトモ現時ノ負擔額ヲ以テ全國各市民ノ負擔ニ比スレハ許多ノ餘裕アルノ
 ミナラス市制ヲ施行シ新稅源ヲ求メ賦課ノ均一ヲ謀ラハ決シテ人民ノ痛苦
 ヲ來スコトナカルヘク況ヤ人口年々逐テ増加シ共有財產ノ收入益々多キヲ
 加ルニ於テヲヤ故ニ市制ヲ施行セラルレハ人民自治ノ權利ヲ伸張シ政府區
 役所費ヲ節約スルヲ得テ公私ノ利益トナルヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願
 意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及
 送付候也

明治三十年一月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣伯爵松方正義殿

○馬屋原彰君 是モ唯函館ニ市制ヲ施行シテ貫イタイト云フダケノ請願デア
 リマスカラ是モ參考ノタメニ政府ヘ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ可決ト致シマス、次ハ保險業ニ關スル法規
 制定ノ請願

意見書案

保險業ニ關スル法規制定ノ件

大阪府堺商業會議所會頭藤本莊太郎呈出

右ノ請願ハ最近保險會社ノ各地ニ創設スルモノ多數ニシテ其ノ種類モ亦頗
 ル多ク將來益々増加セムトスルノ傾向アリ該事業ノ隆盛ニ趣クハ社會事物
 ノ上ニ於テ洵ニ喜フヘシト雖物隆ナレハ弊害ノ之ニ伴フハ免ル能ハサルノ
 通患ニシテ少額ノ資本ニ頼テ貴重ナル事物ノ保險ヲ試ミムトスルアリ又競
 フテ被保險者ノ負擔ヲ輕減シテ會社他日ノ恐慌ヲ慮ハカラサルアリ其ノ弊
 害枚擧スルニ遑アラズ若シ此趨勢ヲ以テ進ムトキハ其ノ事業ノ信用ヲ損ヒ
 其ノ發達ヲ阻碍スヘキノミナラス遂ニ一大恐慌ヲ惹起シ社會ニ害毒ヲ流ス
 ニ至ルモ知ルヘカラス故ニ該事業取締ニ關スル法規ヲ制定シ速ニ斯業ノ爲
 ニ充分ナル保護ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇
 スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十年一月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣伯爵松方正義殿

○馬屋原彰君 是モ近來保險業ガ盛ニ興ルニ從ッテ之ニ伴フノ弊ガアルカラ
 此取締法ヲ設ケテ貫ヒタイト云フノデ是モ贊成ヲ願ヒタイ
 (「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナケレバ是モ可決ト認メマス、次ハ商事
 會社合併ニ關スル法規制定ノ請願

意見書案

商事會社合併ニ關スル法規制定ノ件

大阪府堺商業會議所會頭藤本莊太郎呈出

石川縣金澤商業會議所會頭龜田伊右衛門呈出

右ノ請願ハ近時商事會社ノ合併ヲ爲シ又ハ爲サムト計ルモノ二三ニ止マラ
 ス社會前途ノ趨勢ヲ觀察スルトキハ將來此等ノ計畫ヲ爲スモノ益々増加ス
 ルニ至ルヘシ蓋シ會社設立ノ要ハ多數ノ資本ヲ醜集シテ廣大ノ事業ヲ經營
 セムトスルニ在レハ二三ノ會社ヲ合併シテ一社ト爲シ營業ノ利便ヲ計ルハ
 即チ會社設立ノ本旨ニ適合シタル措置ニシテ亦怪ムニ足ラス然ルニ我現行
 商法ハ會社ノ合併ヲ認メサルカ故ニ實際ニ於テ二三會社ノ營業及財產ヲ合
 併セムトスルニハ形式上甲會社ハ乙會社ノ事業及財產ヲ買收スル手續ヲ爲
 サ、ルヲ得ス之カ爲ニ要スル繁雜ナル手續ト無益ノ費用トハ決シテ少シニ
 アラス其ノ他實際會社ノ取扱ニ係ル節目ニ對スル不便利ハ舉クルニ遑ア
 ラサルナリ故ニ此際政府ハ合名合資株式等各種ノ會社ニ限リ其ノ營業ノ異
 同ヲ問ハズ特別法ニ抵觸セサル限ハ任意ニ合併シ得ヘキ規定ヲ設ケラレ實
 業社會ニ利便ヲ與ヘラレムコトヲ望ムトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體
 ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊二通及送付
 候也

明治三十年一月 日

貴族院議長公爵近衛篤磨

内閣總理大臣伯爵松方正義殿

○馬屋原彰君 是モ商法ニ於キマシテ商事會社合併ノ規則ガナイタメニ甚ダ
 不便ヲ感ズルカラシテドウゾ合併ノ出來ルヤウニ追加ヲシテ貫ヒタイト云フ
 ノデアリマス、是モドウゾ意見ノ通贊成セラレンコトヲ希望致シマス
 (「贊成」異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ是モ可決ト認メマス、議事ハ是ニテ終リマ
 シタ、先刻御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道ニ及ビマス

鐵道布設法中改正法律案特別委員

- 子爵岡部 長 職君 子爵堀田 正養君 辻 新 次君
- 箕作 麟祥君 名村 泰藏君 男爵本多 副元君
- 村田 保君 馬屋原 彰君 渡邊 甚吉君
- 祿高整理公債法案特別委員
- 侯爵黑田 長成君 子爵京極 高典君 男爵尾崎 三良君

男爵安場 保和君 柴原 和君 男爵伊達 宗敦君
 男爵吉川 重吉君 渡 正 元君 澤原 爲綱君
 古墳墓保護ニ關スル建議案特別委員
 子爵日野西光善君 加藤 弘之君 松岡 康毅君
 男爵安場 保和君 男爵末松 謙澄君 久保田 護君
 重野 安繹君 外山 正一君 蟹江 史郎君

今日ハ散會
 午前十一時五十六分散會

貴族院議事速記録正誤

頁	段	行	誤	正
一	下	三	議員正	
一	下	四	於	
二	上	九	部	
三	上	九	邊	
頁	段	行	誤	正
三	下	一	渡正元	男爵榊取素彦
六	下	一	追加	追加案
六	下	二	島國大隅	隅國大島